茬

7

語

ヲ

Ħ

ケ

タ

モ

Ì

Z,

ŀ 謂

フ

即

チ =

目

原 蓮

大

和

本草

ニ「京畿

1

小

兒

菜

現在

|横濱ニ於テ畑ニ

栽培セラレ

甘藷

ラ如

ク

地

面ヲ蔽

E

個

經

濟

植物

ŀ

₹/

々種子

=

テ

播

殖

サレ

在

古

倫

モ

根

タ

Æ モ

ガ

是 水

三舌

皷

Ĩ

打

セ

ツトアル

ノデアル

ッ

シ

ラ横濱

文那人

、ハ之ヲ

Wong

Tsei

ŀ

呼 ラ

ンデ居 年

卷二第誌雜究研物植 **今其** ν 面 通常之ヲ審杏ト ragonia expansa, 力影響」ト ナ(番杏)ト 番 ガ デアル 云ハズ」トナ 故其 支那 浮ブ 「船以甕盛之」ノ句ヲ引用 象名 例 即 長 ヲ 一枝ヲ水中 モ 云フ論文中ニ 舉 テ ズ チ ナ ,ラン敷 ルニ ィ , 南 ν ノスベ 水 書 フレト 方草木狀ニ AIT.ト稱シ本邦各地ノ海濱 及 中培 中 ス キ レドモ 夣 和 Ė. ン デアル薙菜ハ學名ヲ Ipomoea aquatica, Forsk. 書イテ居 雜 養法 デ莖葉皆葦 漢 捕 「ウムツ せ 三才圖會 誌 認第十 「南人葦 バ直ニ 是ハ番杏ト 7 シテ居ル荆州府志 デア w 五 白色 ノデ見テモ分ル是ハ申 アイ(蕹菜)字ノ唐音ノ訛 一篇第七 筏 所 jv \ j 載 , ノ孔中ヨ ・書クノ 編 7 又甕菜 デ突 水中 鬚根ヲ 號 三自生シ ガ 於 ŋ ŀ Ē かテ 文學 爲 發出 ノ甕菜 Æ Ш 浮べ 異名 デ ৶ **≥** イ事 小孔ヲ作リ水上 スル 或 水 タ 主 ハ此栽培法ニ ガ Ė w ۱ 簀上ニ ス迄 隨テ上 中 アル ヲ以テ清異 食用ト 質問 y 村 モ チ 칬 成形 y o 一下ス 本草 ・シテ ナク 簇 四 生 郞 圖 ・下云と 栽培 或八 因ミシ ヲ繙ケ 南 「蕹菜ハー名ッ 說 = 錄 氏 ₹/ 浮ベ子 記 芳 夕 宇'一 者 7 w セ 一龍鬚菜 奇蔬 圖 ラ Ŋ 名 バ直ニ分ル ハ金薯傳習録 īv るがほ科 涌ッ世 稱 ヲ水中ニ ۱۷ ナラン 1 安ァ支 原 ナ IJ. 伊ィ那 つるな 名が v 支 歟 那 文漢 種 Ξ ナ(蔓菜 Ħ 又蕊菜 屬シ番 カクロ ア 科 本 中 ナ ν 書 jv 文化 Κ, 其 7 11 則チ萍 蓋 植 ١٠, 「蘿菜本 1)トモ云 基 何 記 ハ生活 物 杏 3 7 及 水 ₹/ デ ν ハー名 ァ 學 ラ ラ 中 ボ = 1 名ヲ 東 書 培 ア 如 力 iv ۲ シ ス 番杏ト 世 夷 タ ク

服キ 人

٠,

ツ jν

w

Oげんげばな、 附からすのゑんどう

野 富 太 郎

牧

小 ν 野蘭 ヲ v ンゲ Ш 1 大和 11 . ٦-本草批 ŀ 云 正 ア iv いれんげばな一名げんげばなノ名下ニ「京 然 ルニ 普通 = 呼 シ デげ んげばなト 稱 ス jν 師

んがば 75 附からすのゑんどら

汳 花

シ ŀ

云

フ

事

j

諱

٨

ナ

. ا

ŀ

註

シ

テ

ァ

ル 是 v

テ呼ブ内ニ

自然ニ音便ニョッ

翿 搖 (植物名質圖考、卷ノ四、蔬類ニ出ヅ)

(縮圖

galus ノデア

ŀ

聞

j Ż

又紫雲英

漢名

ガ

アル

ガ

是レ

ハ芥子園

傳

出

「テ居 7

iv

翹搖

ノ名ハ本草拾遺

三始

メ テ出

. デ本草

イ然シ陸中陸奥邊デハ氣候

ガ叉往

一々野生

一ノ狀態トナッテ居ル

處が

小

田

面

=

播

タ

モ

,

デ

ガ寒イカラ能ク生育シ

ナ ŋ ル通常種子(げんげ種ト稱シテ賣買スル)ヲノ原産デ我日本へハ往時同國カラ入リ來ッ

sinicus

L. (=A.

lotoides Lam.)デアル

元來

テげんげばなト 果シ ラ青繁 變ジ タノ アル コク 中 後デ解ヲ附シ ŀ 力 ッ 思フ、 或べ テ居 本來 w ソシテ此草ノ漢名ハ翹搖デ學名 說 ガ デ んげん タ r ラウ ノカ是レ げばば カ な 或 ハ再考ヲ要ス ぶデれ ۱۷ n んげば 'n だげば な な jν ヺ 學 兒 問題 女 Astra ガ賢 ガ

デ

ゑん デハンヲ 時 jν 此 時 どう等ノ 珍 四、 翹搖 耕 ŀ 之ヲ 同書卷 轉 蔬類 ラの 文漢 ₹ 總稱)トシテ居ルガ是レハれんげばな · テ 田 「處 ٦, ゑんどう(からす 記 ノ條デ翹搖ヲれんげばなト ノニ十七、 ヤニ ₹ ・テ居ル 壅フ故ニ薛田ガ詩ニ 皆アリ蜀人 菜ノー、 小野巓山ノ のゑんどう、す 秋 柔滑類 種キ 本草綱 云 春 ŋ テ圖 收 剩 Ξ どめ 目 種 釆 說 啓 豌 iv 老

ス べ

*

ガ

本當 爾

デ

雅

=

柱 -

尧 ヶ

۰ ν

搖 ٧٧<u>-</u>

車 ナ ラ j.

ŋ ヌ

注

蔓生細葉紫華食フベ

ク

/ 今俗ニ

呼ン

デ翹搖

車

日

フ

ŀ

7

N

モ

=

୬

テ

即 =

チ

植物名實圖考

デ

ŀ

ラ

۱۹

ナ

1

力

ŀ 思

E

翹遙 翹搖車 賣リ 本草 ガ 圖 同語ノ「食薬」ノ文字モ テ 潰 コ ン
之
ヲ 階ム 考卷 \mathbf{H} 又紫荷花草並 ŀ 名ヲ碎米薺トシ「食葉」ト註シ又「三月釆止可作虀」 計 ハ其莖葉柔婉 **し** 文漢 プー が能 ガ . ئ Ė 始 因テ 看 タ テ 翹搖車、 湖 * ŀ ノアル 取セ ク 呼ブ蔓生紫華、 北 テ -ラ ノカ今其邊ノ ノ之ヲ 佳 生ズ吳地ニモ 屈 、記シテアルガ我邦デ 荖 其葉ワカキ ロク羹ト 又同書 亦 銯 草態ヲ形容シタ文字ガ載ッテ居ル /元修 モ 翹翹車、 评 = ニ敷地錦(俗名飯花)モ亦又其異名デアルラシイ、本草綱目ニ李時珍ガ翹搖等ノ意味ヲ釋テ「翹搖 ス 出 シラ翹然飄搖ノ狀アルヲ言フ故ニ名ク蘇東坡ガ云ク菜ノ美ナル者ハ蜀郷 元修菜、 吳. 、多分是レ ン 作シ 菜ト 户 テ居 デ翹翹花 事 「可作靈」ノ文字モ疾ニ識ラレラ居ル 時食ス」ト 翹車、 之ヲ テ尤モ美ナリ」英トロッテ居ル、 亦多シー名ハ漂搖草一名ハ野蠶豆ナ 華翹起シ搖動ス因テ名クト 謂フ陸放翁ガ詩ノ序ニ ガ私ニ 「此物獨 w 臭虫豆、 ガ之ヲれ ŀ 野 搖車、 ・日フ 篇 Gueldenstaedtia multiflora Bunge. ハ分ラナ 、八普通コ 書イテ 豆 / 嫵媚ニ 淮 紅花菜、 んげばなダ ŀ 漂搖車、 イ同 、アル或ハ九州邊 ハ其葉ヲ食フコ 南北吳下 フ シテ枝葉花態詩中 江 翁 鐵馬豆ハ皆其レデアル又、碎米薺、紫雲英モ亦別名トスベ 西 漂搖豆、 ハトス 云 Ξ 、爾雅那 つ蜀 種 救荒野譜ニ 云 + 蔬 テ以 フ」英ト記シテ居 漂搖菜、苕、苕搖、苕饒、旨苕、柱夫、 尚 ニ兩巢アリ大巢ハ デハ食フ處ガアル トガナク唯之ヲ田 ト記シテ居ル此様 房ノ疏ニ 救荒本草卷 非 ホ ラ ハズデアル、翹搖ニハ多數ノ別名ガア リ油ヲ以テ之ヲ煤シ綴 ラ畵 以 H デアル 據テ之レニ碎米薺ヲ充テ、居ル 蔬卜爲 肥 デ ハ 「柱夫ハ し 文漢 一个其圖 シ ノ七ニ ダ ス ŀ ベス云云 之ヲ 力 一即チ豌 ラ注視 二米布袋 叉王西 カ又 支那 肥料 食 隙地 フ 徧 文漢 ニニス ス 豆 樓 べ 小稱 貝原 テ + w ノ實ラザ ネ ŀ ν jν 救荒 'n 記 ニ米糝ヲ以テス ス 生 直チニ 蔬 草 1 フ其 ıν 翁 **୬**⁄ 且 草ガ ノ巣ト故人巢元脩之 ガ只 ジ 3 ŀ ナ ý — ル者 譜 紫蕚綠莖天然 ツ 子 デ ナ ァ 支那 前 ヲ トカラ考フレ 别 アッ シ デ 野蠶豆、 ふれ 名搖 賣 テ其葉ヲ 種 = jν 頁 テ植 プ説 ガ然シ €/ = jν 即チ翹饒 草花 んげ テ小 植 揭 ガからす + 物 物 グ 升 ヲ ばな ・受ケ 大和 食フ 巢 デア タ ヲ ŀ 小巢

圖 D 本草家

グノ謂

コル

元寳草デハナク其

ハきく科

屬ス

アスタにたびらい (Lampsana apogonoides Maxim.)

出

. .. デ

若菜ヲ摘メバ是非トモ

採者ガ見逃シ難イ狀態ノ

下二其小ク平タイ

嫩苗ヲ

此

處

Ш

面

ゴノ七草:

中ノほとけ

Ó Ě

ハ今日謂

ラ所 ν

ノ層

形 科

、ほとけのざ

(Lamium amplexicaule

F.

即チ寶蓋草、

H

本

即チ支

えんどう (江州伊吹山 ノモ ノデ ナク今日吾人ノ稱スルやはずゑんどう) ・ハ支那 デ ۱۷ 野豌 豆 即 チ

1の七草ノ一デアルほとけのざニ就テノ私ノ主

テ ŀ アル 二飯 'フレバ今日吾人ノ 稱シすずめのゑんどうハ薇ト稱スル、 エ其草木圖説ノ説ニ從フテ此兩種ヲ認メテ居ルガ然シ今之ヲ正ニ反セバ宜シク今日謂フ所ノやはずゑんど、ノミナラズ本草綱目啓蒙デ謂フからすのゑんどうヲ特ニやはずゑんどうトシテ別ニ記シテアルヨリ吾人 沼慾齋ノ草木圖 謂フ所 說 ニハ此からすのゑんどうノ名ヲ彼ノ江州伊吹山ニ生ズル ノやはずゑんどう即チ 元來からすのゑんどうト云フモノハ小野蘭山ノ本草 Vicia sativa L. デナケレバナラヌ Vicia sepium ŀ 思フベ 綱 キ理 日啓 ノ和名トシ 由 ガアル然 據ッ

うヲバからすのゑんどうト呼ブベキデアル若シ う(伊吹野豌豆)ト之ヲ新稱シタイト ヲ以テ吾人ハ止ムヲ得ズ今別ニーノ和名ヲ定メテ其種ヲ呼バネバナラナイ立場ニ逢着スル乃チいぶさのゑんど 思フノデアル 斯ク處理シ タ時ニハ玆ニ伊吹山品 ハ忽チ其 名ヲ失フコト ナル

今日其草木圖

〇春ノ七草ノーデアルほとけのざニ就テノ私ノ主張

富 太

野 郞

デ謂フ稻槎菜 んびらっ ŀ ŀ シテ 同時ニ又たびらて(田平子)デアル即チ我邦ノ或ルニ三ノ地方デハ土人ガ之ヲたびらて或ハたびらって或 古人 Z) s ŀ 呼ンデ現ニ食用ノ野蔬 デナケレバナラヌ 極 メタ通り用ウベ = 、キデア ŀ ヲ私ハ主張スル、 トナシ テ居ル處ガアル昔之ヲ春 叉此 ح ちにた 其レ故七草デハ此ておにだひらてヲほとけのざ びらてハ其本當 ラ七草ノ中へ プ名 ハ右ノ如 加ヘタ ノハ眞 ク昔ノほとけ 宜 のざデ